

TestLink Test Task Force



Test Summary Report (TestLink 1.7.2)

Test Project: Test Task Force

Author: TestLink "Test Task Force" Japan Team

2008/01/23

Copyright 2008 TestLink Test Task Force

Permission is granted to copy, distribute and/or modify this document under the terms of the GNU Free Documentation License, Version 1.2 or any later version published by the Free Software Foundation; with no Invariant Sections, no Front-Cover Texts, and no Back-Cover Texts. A copy of the license is included in the section entitled "GNU Free Documentation License".

This document is not confidential.

1 はじめに

TestLink "Test Task Force" (TTF) は TestLink のために結成されたテストチームです。チームのメンバーは開発者とは別に世界中から募集されています。今回 TestLink 1.7.2 のリリースのテストをおこないました。このレポートでは、そのテストの概要について述べられています。

2 テスト計画の概要

2.1 サマリ

今回のテストは以下の目的のもと実行されました。

- リリース前に TestLink 1.7.2 の基本機能のテストをおこなう。
- Selenium を用いてテストの一部を自動化する。
- TestLink の旧リリースから今回のリリースへのデータ移行テストを主におこなう。

テストにはビルド"testlink_1.7.2 (testing release)"を使用しました。このビルドは TestLink 1.7.2 のリリース直前のテスト用のビルドです。5 日間で 39 のテストケースを実行しました。今回は市川、松木、判谷、東、川西の 5 名のメンバーがテストを担当しました。

今回実行したテストケースは 2 つのテストスイートに分類できます。1 つ目のテストスイートは TestLink の基本機能をカバーしたものです。このテストによって基本機能とメニューなどの翻訳を検証しました。2 つ目のテストスイートは、旧バージョンから 1.7.2 へのアップグレードの際にデータ移行が正しく行われるかを確認するためのものです

2.2 テスト結果

基本機能に関するテストケースは全て成功しましたが、以下の 2 つの機能に関するテストは失敗した、もしくはブロックされました。そのひとつは、今回のバージョンで始めて実装された PHP エクステンション名のチェック機能です。もうひとつは、Microsoft SQL Server のインストーラの機能です。これらは、バージョン 1.7.2 で変更された機能です。よって、今回のテストの範囲が適切であったと考えられます。テスト結果の詳細は"Test Results Report"をご覧ください。

2.3 インシデント報告

- 1 [新規インシデント] PostgreSQL エクステンションのチェックミス
Mantis #0001239
- 2 [新規インシデント] MS-SQL で要件管理機能が動作しない
Mantis #0001240
- 3 [新規インシデント] バージョン 1.6.3 から 1.7.2 への移行の際にテストケース名が失われる
Mantis #0001241

4 [新規インシデント] インストーラ上の新旧バージョン移行機能の画面のタイトルが間違っている

Mantis #0001242

5 [要望] MS-SQL 2005 をサポートする必要がある

Mantis #0001243

TestLink 開発チームは既に 1~4 のインシデントを修正し、5 番目の要望に関する調査をおこなっています。これらの修正は TestLink 1.7.3 としてリリースされています。

3 コメント

3.1 Selenium

私たちはテストを自動化するために“Selenium”を使用しています。これは、オープンソースで配布されている、Web ベースのソフトウェアのためのテストツールです。TTF の日本チームのメンバである市川は、TestLink のテストをするための Selenium 用テストケースを書いています。このテストケースは HTML 形式で書かれています。の機能テストを自動化するための調査をおこなっています。このスクリプトを SourceForge.JP の Subversion リポジトリからダウンロードすることができます。

- Subversion でエクスポート: <http://svn.sourceforge.jp/svnroot/te-stlinkjp/tool/autotest/>
- Tar ボールのダウンロード: <http://svn.sourceforge.jp/cgi-bin/vi-ewcvs.cgi/tool/autotest/?root=testli-nkjp>

さらに、このテストを自動的に実行するための Python スクリプトが用意されています。このシステムは図 1 のように構成されています。スクリプトがテスト対象のプロダクトをダウンロードし、Selenium-RC を起動します。テスト担当者が Selenium のログを確認し、その結果を記録用の TestLink に記載します。また、これらのテストケースは Python スクリプトからではなく通常の Selenium IDE 上でも動作させることができます。

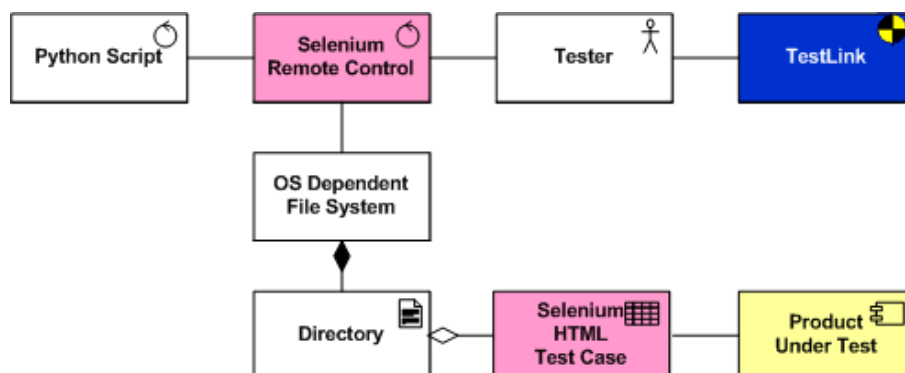


図 1: Selenium による自動化

次期リリースである TestLink 1.8 を使用することで、自動化の 2 段階目に移行できると考えています。詳しくは前回のレポートをご参照ください。

謝辞

TestLink の開発者と全貢献者にあらためて感謝します。また、酒好きで英語のスペシャリストである Egawa さんに感謝します。

参考文献

- [1] TestLink Test Task Force, "Test Results Report (TestLink 1.7.2)", Technical Report - 3, 2007, <http://testlinkjp.org/testtaskforce>.
- [2] TestLink Test Task Force, "Test Summary Report (Trial Version)", Technical Report - 2, 2007, <http://testlinkjp.org/testtaskforce>.
- [3] Microsoft Corporation, "Microsoft SQL Server", <http://www.microsoft.com/sql/>.
- [4] Python Community, "Python Programming Language", <http://www.python.org/>.

アナウンス

Test Task Force の活動を面白いと感じませんか? 協力をお待ちしています。あなたのテストによって、TestLink がさらに使いやすくなっていきます。私達の Web サイトに訪れ、以下のメールアドレスにご連絡をお願いします!

- <http://testlinkjp.org/testtaskforce/>
- testlink.ttf.admin@gmail.com